

試合番号 : 389		試合会場 : ウィングアリーナ刈谷				観客数 : 0			
開始時間 : 12:00		終了時間 : 14:01		試合時間 : 02:01		主審 : 城 智人		副審 : 内藤 聡美	
トヨタ車体クインシーズ		通算 5勝 9敗 ポイント : 16		24 第1セット 26		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 4勝 11敗 ポイント : 11	
監督コメント		12月の試合を終えてから、改善点を徹底的に洗い出し、謙虚に現実を直視して課題を受け止め、練習に取り組んできました。その成果が少し表れたことを嬉しく思います。 新人・原のデビュー戦となり、18年前にリーグ初試合だった荒木と同じコロナ禍の厳しい状況の中、試合ができたことに対し、支えて頂いている全ての方々に感謝します。 今後もトヨタ車体の応援をよろしくお願いします。		3		1		連敗を止めるべく、モチベーションを高めて臨んだゲームでしたが、第1セットはリードされながらも最後まで粘り、取ることができましたが、その後はトヨタ車体の高さあるブロックに苦しみリズムをつくることできませんでした。 来週はホームゲームとなりますので、この連敗のチェック・修正をし、準備をしたいと思います。 今後ともご声援よろしくお願いいたします。	
要約レポート		第1セット、トヨタ車体は序盤からセッター・グーバートのトスが上手く分散し、ソロカイト、原、松本が得点を決め、5-3と引き離しに掛かる。一方、KUROBEは中盤からサイドアウトを必ず取る展開で必死に食らいつく。その後、間橋のコースを幅広く打ち分けるアタックや、リーの強烈なアタックが決まり1点差に追いつくと、21-23からリーの3連続得点でデュースに持ち込み、最後は細沼がブロックを決めセットを先取した。 第2セット、序盤にトヨタ車体が、終盤にはKUROBEが7連続得点を挙げ、どちらに流れが行くかわからない展開となった。KUROBEは浮島と間橋の攻撃が猛迫するも、トヨタ車体・荒木の連続ブロックで引き離し、最後まで食い下がるKUROBEを振り払い、セットを奪い返す。 第3セット、KUROBEは要所で細沼、舩田のアタックが決まり終盤まで一歩も引かない展開になる。リー、間橋も次々にアタックを決めていくが、トヨタ車体はソロカイトにボールを集め得点を重ね、藪田、原の攻撃も効果的に決まりセットを連取する。 第4セット、トヨタ車体は8-9とリードされたところから、ソロカイトのアタック、荒木のブロックで14-9まで引き離して勢いに乗ると、そのリードを保ったまま攻撃の手を緩めず、最後はソロカイトのアタックが決まり、ホームゲームでの勝利を手にした。 KUROBEのレシーブは粘り強く、好ラリーが続く見ごたえの多い場面が多かったが、トヨタ車体の攻撃陣に振り切られてしまった。							
試合番号 : 391		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 643			
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:50		試合時間 : 01:50		主審 : 吉岡 奈々		副審 : 戸川 太輔	
ヴィクトリーナ姫路		通算 3勝 12敗 ポイント : 10		10 第1セット 25		JTマーヴェラス		通算 12勝 3敗 ポイント : 36	
監督コメント		昨日の勝利の勢いを日本一のチームであるJTに思いつきぶつけた一戦でした。 相手のストロングポイントが少しでも消したいという戦略でしたが、第1セットは自チームのミスで崩れてしまいました。 第2セット以降は良い戦いができたものの、最後までドルズ選手を抑えることができませんでした。 1レグより成長を感じることができた2試合でしたが、これから先さらに上に行くためには、相手のストロングポイントをどのように抑えていくのが重要であると感じました。 このような難しい情勢の中、ファンの方に声援をいただきながら試合ができたことを大変ありがたく思います。 ホームゲームの2試合、応援ありがとうございました。		1		3		姫路大会2日目、相手のホームゲームで雰囲気も独特であり、勢いに乗っているチームなので、スタートの入り方が大切になりました。 ゲームを進めるにつれて、相手のブロックとディフェンスで粘られ、ラリーが続く展開で我慢する時間が多かったが、バックアップメンバーが流れを変え、集中力とプレーの精度を上げて勝利することができました。 2021年、私たちはチャレンジャーとして、これからも戦っていきます。 応援してくださる方々と共に1つ1つ勝利を勝ち取りたいと思います。 本日はありがとうございました。	
要約レポート		昨日に続き、ホームで勝利を飾りたいヴィクトリーナ姫路とJTマーヴェラスの一戦。 第1セット、姫路はアリオナのスパイクでリズム作るうとするが、JTはヒックマン、神田のサーブで流れを掴み、JTがセットを先取した。 第2セット、姫路はアリオナ、佐々木のスパイクで主導権を握る。JTは林、ドルズのスパイクで追い上げるが、姫路がセットを取り戻した。 第3セット、JTは芥川、ヒックマンのブロックで流れを掴む。姫路はメンバーチェンジで流れを変えようとするが、JTの勢いは止まらず、セットカウントを2-1とした。 第4セット、後がなくなった姫路は、序盤からアリオナ、貞色のスパイクでリードするが、JTは小幡の気迫のこもったレシーブで徐々に追い上げ、粘る姫路を振り切り、セットカウント3-1で勝利した。							
試合番号 : 392		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイंक体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 361			
開始時間 : 16:00		終了時間 : 17:22		試合時間 : 01:22		主審 : 千代延 靖夫		副審 : 岡田 崇	
久光スプリングス		通算 6勝 9敗 ポイント : 21		22 第1セット 25		NECレッドロケッツ		通算 12勝 3敗 ポイント : 36	
監督コメント		攻撃力が充実している相手に対し、私たちが攻める姿勢で戦ったが重要な場面での小さなミスが重なり、勝利につなげることができなかった。 ラリーを取り切らなければならない場面を逃さず、勝利を積み重ねていきたい。 苦しい状況ではあるが、それぞれがどう行動するかが重要である。前向き、全員で戦い抜きたい。		0		3		本日も応援ありがとうございました。 試合を通じて久光が素晴らしいつなぎをする中で、自分たちが先に簡単なミスをしてしまう場面が多くあり、苦しい展開を作ってしまった。 まだまだ自分たちの甘い部分が出てしまうので、来週のホームゲームに向けて修正し、良い準備をしていきたいです。 気の抜けないシーズンが続きますが、来週は最後のホームゲームとなります。 必ず2連勝できるように頑張りますので、来週も制限がある中ですが、応援をよろしくお願いします。	
要約レポート		久光スプリングスとNECレッドロケッツの対戦。 第1セット、NECは山田、ネリマン、古賀がスパイクを決め、久光は今村、井上(愛)が決めて、競った展開となる。最後は古賀が力強いスパイクを決め、NECがセットを先取した。 第2セット、NECはネリマン、古賀、曾我の力強いスパイクで、久光は今村、アキラデウオ、井上(愛)のスパイクで得点を重ねていくが、勢いに乗ったNECがセットを連取した。 第3セット、序盤から両チーム一歩も譲らない展開となったが、NECは山内のサーブで流れを掴み、最後はネリマンが力強いバックアタックを決め、勝利した。							
試合番号 : 393		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 1,050			
開始時間 : 13:05		終了時間 : 14:22		試合時間 : 01:17		主審 : 高橋 宏明		副審 : 澤 達大	
岡山シーガルズ		通算 8勝 7敗 ポイント : 22		25 第1セット 9		PFUブルーキャッツ		通算 2勝 13敗 ポイント : 6	
監督コメント		昨日の若手選手達の頑張りやいい刺激となり、レギュラー陣の気を高めることにつながった。 若手選手達を生かしながら、主力選手たちの人間力で更にチーム力をアップさせ、気の結実を試合、試合発揮していきたい。 コロナ禍で大変な中、多くのファンの方々が足を運んでくださったことに心より感謝いたします。 2日間かわたり、たくさん応援ありがとうございました。		3		0		決定力を欠き、終盤単調な攻撃を相手に阻まれた。なかなか活路を見出すことができず、敗戦してしまっただけでなく、同じ形での失点を繰り返さないように練習するしかないと思う。 本日も応援ありがとうございました。	
要約レポート		ホームゲームで連敗を避けたい岡山シーガルズと、PFUブルーキャッツの一戦。 第1セット、立ち上がりは互角のスタートとなるが、岡山は吉岡のサービスエースから流れを掴み一気にリードを広げる。PFUも粘り強いレシーブからリズムを掴みにかかるが岡山は金田や渡邊の強打で得点を重ね、25-9でセットを先取した。 第2セット、岡山は立ち上がりから持ち味の粘り強いレシーブから多彩な攻撃を繰り広げリードを奪う。PFUもアコスタや堀口の強打で応戦するが、岡山は宮下(遙)の早いトス回しから長瀬などの攻撃で得点を重ね、このセットも連取した。 第3セット、PFUはアコスタの強打や津賀のブロックなどで互角のスタートを切るが、岡山が渡邊や長瀬の強弱をつけた攻撃で徐々にリードを広げる。PFUも堀口や津賀の攻撃で反撃し中盤まで互角の戦いとなるが、岡山は吉岡や金田の攻撃で得点を重ねる。最後は長瀬のブロックでこのセットも奪い、岡山がホームゲームをストレートで勝利した。							

試合番号 : 394		試合会場 : ジップアリーナ岡山 (岡山県総合グラウンド体育館)				観客数 : 650				
開始時間 : 15:30		終了時間 : 17:01		試合時間 : 01:31		主審 : 増岡 三佳子		副審 : 中西 幸治		
埼玉上尾メディックス		通算 7勝 8敗 ポイント : 22		23 第1セット 25		東レアローズ		通算 15勝 0敗 ポイント : 43		
監督コメント	<p>本日は、今シーズン無敗の相手に対して、全員で立ち向かい勝利を目指した試合でした。相手の多彩なサーブに対して序盤苦しんだ場面もありましたが、私たちも強化してきたサーブを要所で発揮し、競った展開へ持っていくことができました。課題となっているカウンターアタックの場面で、相手の攻撃に対して良い状態でアタッカーに繋ぎきれず、得点することができなかったこと、途中出場の田川、山口、佐藤の活躍、セッター山崎の成長などチームと来週に向けて更なる強化を図り、勝利を目指します。</p>			0	23 第2セット 25		3	<p>今日の試合はなかなか自分たちのペースにすることが出来ませんでした。粘り強く得点を重ねることで勝利をつかむことができました。まだまだサーブミスが続いたり、攻撃のリズムが作れていないこともありましたが、次週へ向けてまたしっかりと修正していきたいと思えます。本日はたくさんの応援ありがとうございました。</p>		
					25 第3セット 27					
					第4セット					
					第5セット					
					監督コメント					
<p>要約レポート</p> <p>開幕からの連勝を伸ばしたい東レアローズと、昨日に続き連勝を狙う埼玉上尾メディックスの一戦。第1セット、東レは石川、黒後、クランなどの攻撃、埼玉上尾は内瀬戸、山崎がサーブで攻め、序盤から一進一退の展開となる。中盤まで互いに譲らず競り合いが続くが、中盤に東レが石川のサーブで相手を崩しリードを奪う。その後も石川などの活躍で粘る埼玉上尾を振り切り、東レがセットを先取した。第2セット、このセットも序盤から互いに点を取りあう引き締まった展開が続く。東レは関の巧みなトスからの多彩な攻撃で大野、クランがポイントを取ると、埼玉上尾はサーブで相手を崩し青柳の攻撃などでポイントを取り返す。中盤まで両者譲らない展開となるが、東レはクランのサービスエースやブロックで一歩リードする。埼玉上尾は途中で入った佐藤や吉野を中心とした攻撃で終盤まで競り合いが続いたが、最後はクランがブロックを決め、東レがセットを連取する。第3セット、後がない埼玉上尾はサンティアゴがサーブで東レのレシーブを崩すと東レもクランがサービスエースを決め応戦する。埼玉上尾は佐藤、吉野の攻撃でポイントを重ねると、東レは黒後、大野、井上らの攻撃で取り返す。このセットも終盤まで競り合いとなるが、最後は東レの大野がブロックを決め、ストレートで勝利し連勝を「15」に伸ばした。</p>										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算		- 勝 - 敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				要約レポート					

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算		- 勝 - 敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				要約レポート					

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :			
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :	
通算		- 勝 - 敗 ポイント :		第1セット		通算		- 勝 - 敗 ポイント :	
監督コメント				第2セット		監督コメント			
				第3セット					
				第4セット					
				第5セット					
				要約レポート					